



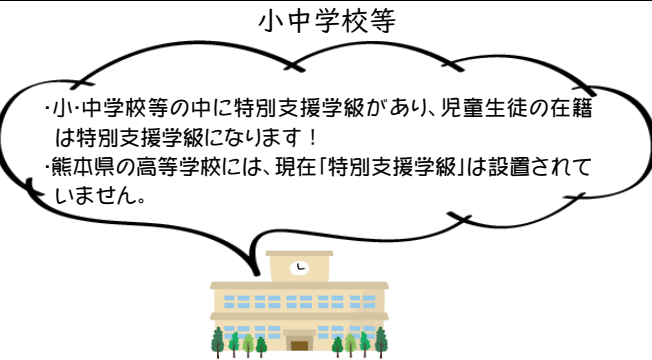
球磨支援通信



熊本県立球磨支援学校
令和3年(2021年)9月 第2号

支援を必要とする児童生徒にとって必要な教育的ニーズは一人一人異なります。一人一人の教育的ニーズに応える指導を提供できるように、学校では「通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校」といった多様な学びの場が整備されてきています。児童生徒一人一人が授業内容が分かり、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、生きる力を身に付けていくことができるように、まずは先生方がそれぞれの「学びの場の特徴」について知り、適切に保護者に情報提供ができるようにしておくことが大切です。

○特別支援学級、通級指導教室、特別支援学校の特徴

	特別支援学級	通級指導教室	特別支援学校
名称	障がいがあるため、通常の学級における指導では十分な成果をあげることが困難な児童生徒を対象とする小中学校に設けられる少人数の学級。1学級の定員は8人で、障がい種ごとに設置される。	小学校、中学校、高等学校等において、通常の学級に在籍し、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、障がいに応じた特別の指導を行う指導形態。	障がいのある幼児児童生徒に対して、幼稚園、小学校中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。
設置場所	小中学校等  ・小・中学校等の中に特別支援学級があり、児童生徒の在籍は特別支援学級になります！ ・熊本県の高等学校には、現在「特別支援学級」は設置されていません。	地域の拠点校 人吉・球磨地域・・・9校 ・人吉西小学校 ・東間小学校 ・中原小学校 ・岡原小学校 ・多良木小学校 ・上小学校 ・渡小学校 ・第一中学校 ・あさぎり中学校 令和3年度現在 ・高等学校の「通級による指導」は、県内7校で実施されていますが、人吉球磨地域にはありません。また、小学校には通級指導教室があるけれど、進学する中学校にはない、という課題もあります。	熊本県内・・・20校 人吉・球磨地域・・・1校 球磨支援学校〈小学部・中学部・高等部〉 (知的障がい者に対する教育を行う特別支援学校) 
対象	- 知的障害者 - 難聴者 - 肢体不自由者 - 言語障害者 - 病弱者及び身体虚弱者 - 自閉症者・情緒障害者 - 弱視者	- 言語障害者 - 難聴者 - 病弱者及び身体虚弱者 - 自閉症者 - 学習障害者 - 情緒障害者 - 注意欠陥多動性障害者 - 弱視者 - 肢体不自由者	- 視覚障害者 - 病弱者（身体虚弱者を含む。） - 聴覚障害者 - 知的障害者 - 肢体不自由者
	障がいの種類と程度については、[平成25年10月4日付け25 文科初756号通知]に示されています。 (就学事務の手引きP14, 15)		障がいの種類と程度については、[学校教育法施行令 第22条の3]に示されています。

学 習	・教育課程は、小学校、中学校学習指導要領を原則国語、算数、音楽、図工等の各教科、特別の教科の学習等（児童生徒の実態に応じて、交流学級で一緒に学習することがあります。） ・「自立活動」を取り入れる 障がいによる学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とした学習を行います。 ・実態に応じて特別の教育課程の編成が可能 各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習等）等を取り入れることができます。	・児童生徒の障がいに応じた特別の指導「自立活動」を、小・中学校の教育課程に加え、又はその一部に替えることができます。 ・障がいの状態に応じて、各教科の内容を補充するための特別の指導を行うことができます。ここにいう「補充するための特別な指導」とは、障がいの状態に応じた特別の補充指導であって、単なる教科の遅れを補充するための指導ではありません。	・小学校、中学校及び高等学校に準ずる各教科、道徳特別活動、総合的な学習の時間のほか、障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とした領域である「自立活動」で編成されます。 ・知的障がい特別支援学校においては、各教科、道徳特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導を行う「各教科等を合わせた指導」が実践されています。
そ の 他	☺ 複数の学年の児童生徒と一緒に学習することがあります。 	☺ 指導形態は、個別指導・小集団での学習など、さまざまです。 ☺ 児童生徒が通級指導教室に通う時間は、担任や保護者と相談して決めます。（週に1～2時間程度） ☺ 通級指導教室には当該学校の児童生徒だけでなく、近隣の学校から児童生徒が通ってくる場合があります。 	💡 高等部のみの特別支援学校があります。 ・ひのくに高等支援学校（合志市） ・鏡わかあゆ高等支援学校（八代市） ・熊本はばたき高等支援学校（熊本市） 💡 幼稚部が設置されている特別支援学校があります。 ・盲学校（熊本市） ・熊本聾学校（熊本市） ・松橋東支援学校（宇城市）

○学びの場の変更

就学時に決定した学びの場は、固定したものではありません。それぞれの児童生徒の発達の程度、適応の状況等を勘案しながら、通級指導教室の選択、特別支援学級から通常の学級への転籍や小・中学校から特別支援学校への転学等ができることなどをすべての関係者で共通理解しておく必要があります。そのために、学校では教育相談や個別の教育支援計画を基にした校内委員会などを定期的に行い、児童生徒にとって、持てる力を最も伸ばすことができる学びの場を検討していくことが必要です。



○教育支援委員会

就学・進級先の決定を行うに当たっては、早期からの対応が大切です。特別支援学校への入学や特別支援学級等への転級を希望される場合、「教育支援委員会」を経て学びの場が決定されるため、前年度の8月頃までに進学・進級先を決めておく必要があります。また、進学・進級先の決定に当たっては、保護者や本人が学校や学級を実際に見学したり、教育相談等を実施したりして、保護者や本人が学校や学級の教育について了解納得のうえで就学事務を進めていくことが大切です。そのため、小学校入学の場合は年中時、中学校入学の場合は5年生時を目処に、保護者へ早めの働き掛けを行うことが大切です。

参考資料

- ・「特別支援学級担任及び通級における指導担当教員のためのハンドブック」
(H29.3 熊本県教育委員会)
- ・「就学事務の手引き」
(H26.3 熊本県教育委員会)
- ・文部科学省 HP
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/054/shiryo/attach/1285860.htm



質問や困ったことなどありましたら、電話、FAX でお気軽にお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉

熊本県立球磨支援学校

教頭：井村

特別支援教育コーディネーター：柴田

TEL：0966-42-3792

FAX：0966-42-6938

E-mail:kuma-s@pref.kumamoto.lg.jp

HP アドレス：<http://sh.higo.ed.jp/kuma-s/>



↑
球磨支援学校の
HP QR コード